

北部九州の宮座

ジガン・ジンガを中心として

段上達雄

Miya-za in Northern Kyushu : Focusing on Jigan and Jinga

DANJO Tatsuo

はじめに

- ① 国東半島のジガン座
 - ② 別府市内のジンガ
 - ③ 中津市のジガンとジガン座
 - ④ 都市祭礼に残るジガン
 - ⑤ 福岡豊前のジガン
 - ⑥ 筑豊のジンガ
 - ⑦ 旧筑後国地域のジンガ
- まとめ

【論文要旨】

福岡県と大分県にはジガンとジガンと呼ばれる祭祀者、そしてジガン座と呼ばれる宮座が存在する。本稿では、その分布と内容について具体的事例をあげながら、その意味について考察する。ジガンは大分県杵築市（国東半島東部）と中津市（山国川流域）、福岡県京築地域（福岡県旧豊前国東部）に広がり、ジンガは福岡県筑豊地域と旧筑後国東部地域に分布し、大分県別府市に飛び地のよう存在する。また、宮座呼称は福岡県旧筑前国地域に分布する。ジガンは神元・地官・神願・地願・氏神・仕官・侍官・次官、ジンガは神家・神和・神課・神裸などと表記し、定まったものはない。本来、ジガンは専門職としての神職とは違う地付きの祭祀者を意味し、ジンガは神と関わりのある家としての意味性が強く出ているものと考えられる。また、宮柱と呼ば

れる一社一家の特別な祭祀者とジガンとの関係をもつ所もあり、北部九州の神社祭祀組織は単純ではない。このジガンやジンガによる祭祀組織は本来は株座であり、当座制度をとる所が多い。また、その家筋は土地の草分けとか本家筋と呼ばれることが多く、神社の勧請に関わった家だとか、中世までその家筋が遡れるという伝承をもつ所もある。しかし、特権的祭祀集団であった株座は、近代になると地域全体の家が参画する村座へと変貌をとげた所が多い。このジガンやジンガ等の祭祀組織が行ってきた祭りの中には、杵築市の白鬚田原神社の「どぶろく祭り」や、国東市や豊前市等の「山人」「山人走り」の神霊を運ぶ神事などのように特色ある祭祀が存在する。

【キーワード】宮座、ジガン座、ジガン、ジンガ、祭祀組織